

# Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 阿部 信行 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷(株)

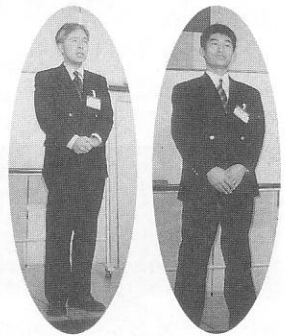
## 平成7年度 鳥取県中小企業青年中央会経営研修会行われる。

演題 “成功へ導くための自己表現” 実践に役立つ話力の向上  
講師 (株)クリエイティブ・オーディー 常務取締役 喜田 寛氏



去る、12月1日(金)鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」において平成7年度鳥取県中小企業青年中央会経営研修会が会員120名が出席して盛大に行われた。経営研修会は終始雨の降り続く悪天候にもかかわらず、ホテルニューオータニ鳥取・鶴の間に東部会員60名、中部会員24名、そして我が西部

と、家族と、お客様と。感謝の心を持つこと、初心を忘れないこと(創業当時や仕事を始めた時等の気持ち)特に初心は大事であり、初心を持った人はいつまでも新鮮であり人はそれに感動する。2. 聴く～人が言いたい事をしっかり聴いてやる。理解してほしいという願望をかなくてやる。3. 叱る～怒るのではなく叱るのは本人のためであり会社のため。自己尊厳本能を考慮し、一人の時に行うべき。4. 褒める～良かった事は心の底から褒めてやる。自己尊厳本能を考慮し、大勢の前で行うのが効果的。5. 念い～“おおい”と読む。先生自身の倒産時の話をして説明された処では、心に誓い魂の内に絶えず思い続ける一生一代の決心。以上、講演の要旨の他にも自身の体験談として倒産時の話やよい人間関係を築けず家庭内暴力の怒った家庭の話、ディズニーランドとスカイラーク等の商法、聴講者6名を選んでの壇上での2分間スピーチによる先生の人物寸評など聴いていて時間のたつのを忘れるほど楽しく熱のこもった講演であった。最後に西部青年中央会阿部会長から喜田先生に謝辞が述べられ「講演を聴いていて胸に何本も矢を射られた思いです。私自身も初心を忘れていたように思います。」という言葉は聴講者一同の思いであった事でしょう。続いて行われた懇親会では喜田先生他、中小企業団体中央会から来賓を迎えて盛大に執り行われた。西部青年中央会にあっては、余興においてその持ち味をいかに発揮し、知性ゲームでは東部、中部を抑えてトップとなり次に行われた…ゲームでは東部中部会員を呆れさせる程の遊び心で見事に最下位、失格となり場内は最高に盛り上がりました。



青年中央会からは36名の会員が出席して行われた。研修会は午後2時15分定刻に開会され冒頭に油谷県会長の挨拶が行われた後、講師の(株)クリエイティブ・オーディー常務取締役喜田寛先生をお迎えして始まった。喜田先生は自己表現力講座を開催されるプロの講師でその講演には誰もが引き込まれていくほど説得力があり又、内容の充実したものであった。喜田先生の講演は経営テクニックや単なる話し方の技術と言ったものではなく、社会において企業や家庭において一番大切なのは人間関係であると説かれ、その人間関係を良くすればどうなるか悪くすればどうなるか、どうすれば良くなるのかということを幾つかの例を挙げて説明された。まず、よい人間関係の会社は仕事のためなら社員が休日を返上してでも協力して売上を伸ばした店と仕事があっても社員が休日の権利を主張したため注文を断り売上を伸ばせなかった店の例を挙げ、よい人間関係をつくるにはリーダーである者が自己表現をしっかりしなければならないと言われた。自己表現とは身だしなみや態度や話し方であって気持ちの現れでありそれは、何事(社員、仕事、家族、健康、お客、その他)にも感謝の心を持ち続けること、初心を忘れないことであると説明された。「よい人間関係をつくるには」1. 挨拶がしっかりできる～社員



## 「'95とっとり産業技術フェア」開催

—— 当会会員企業も多数出展 ——



今年で2回目を迎える「'95とっとり産業技術フェア」(鳥取県工業技術振興協会・鳥取県中小企業団体中央会40周年実行委員会など主催)が、去る11月2日・3日の両日。米子産業体育館で開催され、多くの来場者でにぎわった。「はばたけ確かな技術」をテーマに、最新のバイオ・

新素材・環境機器をはじめ、マルチメディア・エレクトロニクスなど県内企業・鳥大・高専など78社11団体からの出展があり、会員企業の参加も7社を数えた。藤居直前会長は自社の主力製品のコードレス電話を片手に、「海外の低コスト商品に対抗するには、日々の新技術導入への取組が不可欠」と語った。また、パソコン出展企業のブースでは話題のインターネットや、コンピュータゲームに人気が集

していた。3日は祝日という事もあり、親子づれの姿が目立ったが、同フェアへの来場者は2日間で約8,000名を記録し、成功の内に閉幕した。





# 11月度委員会報告

## 政治・行政委員会

平成7年11月7日(火) 於：米子食品会館  
 出席者/16名  
 内容/11月担当例会の打合せ会をいたしました。  
 講師先生に湯原県議を招き出題内容(FAZ、合併の件、その他)について、勉強会を行い活発な意見が出、活気ある委員会になりました。また、各県議の会派構成について少し御話をいただき、我々自身あまり知っていない事で良い勉強になりました。  
 [各県議会派構成]  
 自民12人 創造13人 県民クラブ4人 社会民主連合4人 公明2人 リベラルTOTTORI 2人 共産1人 無所属2人 以上であります。  
 そして夜の町へ……、消費拡大に貢献すべく消えて行きました。

## 社会・文化委員会

平成7年11月8日(水) 於：ビジネスホテル アジェンダ  
 出席者/13名  
 内容/①今後のテーマと言う事で、今度は、子供達の「いじめ問題」をテーマに、色々な講師を呼んで何度か講演を聞きましたが、今後このまま、「いじめ問題」で良いのか、それとも、もっと巾広く、色々な問題に取組み、勉強して行くか意見が分かれたが、最後まで「いじめ問題」に取り組もうとの意見がまとまった。  
 ②1月担当例会の打合せ。テーマ、講師先生、形式等の打合せ、最後迄意見がまとまらなかったのが、再度集まり打合せをする予定。  
 ③その他。忘年会の打合せ。  
 会場が、ホテルアジェンダと言う事もあって、カナナベを囲んでの意見交換ですので、大変リラックスした気分で委員会が出来ました。

## 地域ビジョン委員会

平成7年11月6日(月) 於：米子食品会館  
 出席者/6名  
 内容/委員会方針の打ち合わせ  
 経済レベル、行政レベル、市民レベルでの合併のメリットを調べる為、アンケートによる意識調査及び財政面でのメリット等を調査する事を決定した。

## 経済委員会

平成7年11月13日(月) 於：米子食品会館  
 出席者/12名  
 内容/役員会報告のあと、総務委員会と合同委員会を行いました。  
 忘年会会担当打合せ  
 ①タイムスケジュールの打合せ  
 (総合司会(進行)は経済委員会担当)  
 ②オークションの打合せ(総務委員会担当)

## 経営投資委員会

平成7年11月16日(木) 於：レストラン「さいとう」  
 出席者/10名  
 講師/足達明彦氏(山陰合同銀行、融資部調査担当)  
 演題/「中国の投資事情」  
 中国の投資事情の話である。講師の足達氏は山陰合同銀行から、北京へ勉強にいった一等最初の人であり、2度目は上海の日本興行銀行で仕事をした人である。また、あの天安門事件の銃撃戦の合間

を脱出してきた貴重な体験を持つ人でもある。  
 外資進出状況、進出形態の説明に始まり、我々の最も興味のある、中国という国の今後の進路について、氏の地に足のついた洞察を拝聴した。レジメの文字の裏側に、膨大な実体験の蓄積を感じる話であった。なんでも中国の奥地、朝から晩まで「羊のケツをひっぱっている人達」(氏の表現)の住むウラムチヤチベット自治区のサラまで出かけておられる。工業発展のすさまじい沿海地域だけが中国ではないことが氏の話を通じて実感されるのである。当然ながらそこに矛盾のありかがある。  
 とにかく面白い。氏の話の最中に、次から次へと質問がでてくる。誠に活発な委員会となった。

## 情報メディア委員会

平成7年11月8日(水) 於：NTT米子支店  
 出席者/14名  
 講師/NTT中国支社法人営業本部地域情報化推進室室長 岩谷亜夫氏  
 演題/マルチメディア時代に向けて  
 マルチメディア時代に向け、コンピュータ、家電、通信、放送、出版といった業界は確実に進んでおり、その市場規模は2010年には123兆円になるという。  
 現在、NTTでは、アクセス系設備の光化、マルチメディア共同利用実験等、具体的な取り組みも始まっている。  
 マルチメディア時代の到来は、産業構造、流通機構を大きく変え、人々のライフスタイル、ワークスタイルまで変えてしまうものであるという。

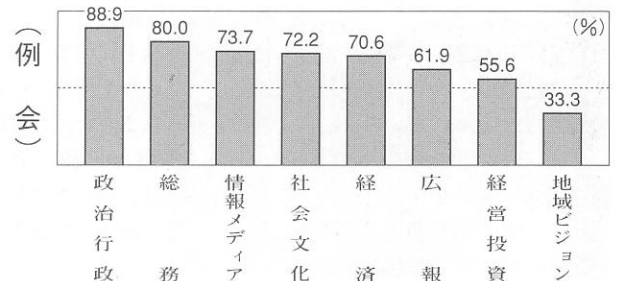
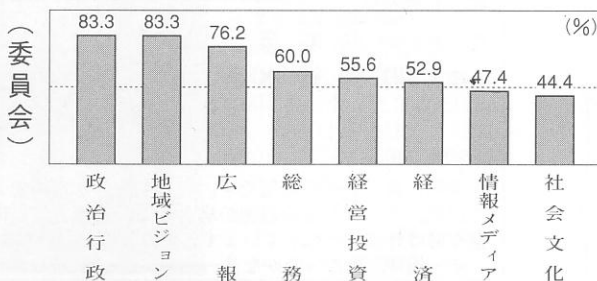
## 広報委員会

平成7年11月7日(火) 於：米子食品会館  
 出席者/13名  
 内容/○11月役員会報告  
 ○12月ハンサムの企画打合せ  
 ○新入会員の河端君の歓迎会を兼ねて2次会へ突入

## 総務委員会

平成7年11月13日(月) 於：米子食品会館 別館1F  
 出席者/16名  
 内容/1. 綱領唱和  
 2. 委員長挨拶  
 3. 役員会報告  
 4. 議事  
 ①新入会員自己紹介  
 釜田公文(36才・有限会社クリーン環境開発/代表取締役)  
 ②連絡事項  
 村上会員は、11月1日付で株式会社KOA倉吉営業所勤務、尚中央会活動は継続  
 ③西部青年中央会・野球部創立について  
 ④委員会懇親ゴルフ開催について  
 ⑤12月忘年会開催について~経済委員会と合流にて協議  
 担当/総務・経済委員会  
 と き/12月18日(月) 18時30分より  
 と ころ/ホテルわこう  
 内 容/チャリティーオークション実施(目標額20万円)  
 収益金は日本赤十字社を通じ、阪神大震災の被災者へ  
 一委員会4点程度出品、福袋も数点用意。  
 役 割/司会:竹中 入札担当:玉木、村上  
 集金係・品物受渡係:新入会員6名で分担 他  
 ※委員会終了後、特別会場にて釜田会員の歓迎会を実施。

## 例会・委員会 出席状況



# 11月例会報告

西部青年中央会、11月例会は政治行政委員会の呼びかけに知性派、松田一三OB、行動力・バイタリティーの石黒豊OB、そして若さと将来性の湯原俊二会員という個性派県議三名が一堂に会し、討論を行うというゴージャスなものであった。

討論の焦点が「県西部の活性化」と「合併問題」に絞られ、まず「県西部の活性化」については、定住人口を維持しつつ、交流人口を増す。その為には、隣県及び周辺地域との交通網の整備が必要で、単に生活道路としての機能だけでは不十分で高速化が不可欠である。さらに米子空港の滑走路を延長していくことにより、ソウルとの定期航空路が現実のものとなれば、西日本にとっては、関空でもなければ成田でもない。

ソウルがハブ空港としての機能もつ可能性が予測できる。そうなれば西日本の全世界へ向けてのゲートウェイとしての役割を、この鳥取県西部が担うことも考えられる。(石黒議員、湯原議員)それに伴い、受け皿となる県西部も、行政単位が市町村という小さなものから、生活圈という広域なものになってきている為、地域の人々の意識の統一が必要になってくるし、行政区画を越えた組織の再編制が必要になってくる。(松田議員)など、将来展望が大きく膨らむ討論がなされた。

次に「合併問題」では米子・境港両市と、その周辺町村を加えた20万都市構想に話題が移ったが、三県議共に合併には肯定的で、合併のメリットは非常に沢山あるが集約すれば、自己完結型の都市機能を持つことができ、北陸から下関迄の日本海側には一つもない20万都市というイメージアップにもつながる。更にインフラ等の整備にも有利となり投資の額が増大するなどの議論が展開された。(松田議員)



合併のデメリットとしては住民が行政サービス等を受けにくくなる、とか、自治労の問題等はあるが、「郷愁の念」ともいべき住民感情が心配される(石黒議員)

又、法改正によって住民発議制度による、市長への直談判的な道も作られているという話もあった。(湯原議員)

最後に、西部青年中央会としての政治・行政への取り組み方では、とにかく傍観者であってはならず、コンセンサスの取れたものについては、他の団体とも同一歩調をとり、より強くアピールしていくべきだ、という締め括りで幕を閉じた。

今の我々会員に求められる姿は、阿部会長のスローガン MORE ACTIVE! そのものである。

## 聞いてごしない Part 9

### 「ピー」

最近「ピー」という電子音を聞く度にドキッとすると、周りの人もポケットを探ったり、鞆をのぞき込む。ポケットベルに携帯電話、会議中だろうが講演中だろうがTPOを無視して鳴りだす、静まり返った中で「ピー」と鳴りだすと冷や汗物である、鳴るとしようがないのでコソコソ抜け出して外で話をする。中には堂々と会場内で話をする強者もいる。スイッチを切れば問題はないが、つい忘れてしまう、機種によってはバイブレーションで着信を知らせるものもあるそうだ。

先日、出張帰りに「やくも」のなかで「ピー」が鳴り続けるそれも不規則な鳴り方をする、ふと見ると斜め後ろの席で例の電子手帳を箱から出して説明書を見ながら何やらゴソゴソしている、買ったばかりでいろいろ操作しているようだ、本人には「ピー」が気にならないだろうが周りの人には耳障りで仕方がない。

この電子手帳確かに便利で中央会でも結構大勢の人が使っているようだ。特に新し物好きのO氏など持っている人を見つける度に「光通信で名刺交換をしましょう」と近づいてくる。噂では講習会も聞くようである。これから買おうと思う人は参加してみてもどうだろうか、なかにはH氏のように使いこなせずに他人に譲ってしまった人もいようである。その時話もあるだろうがこの電子手帳「ピー」を消すことも出来る、知りたい人は説明書を見るかO氏に聞いてみていただきたい。

情報機器の発達により、あらゆるところで「ピー」が鳴り響く、みなさんもTPOをわきまえて、特に例会中には講師のかたにも失礼に当たるので、スイッチを切るなりして「ピー」が鳴らないように気をつけていただきたい。(きのこ)

### 編集後記

大山の雪が白さを増し、寒さが肌身にしみる夜は鍋が美味しい季節となってきました。機会あって下関にて「ふく料理」を戴き、さらに「ふく」に関するお話を伺い乍ら、食べ物と社会・産業・観光と各方面に深く係わりを持ち、長い歴史が刻まれている事に痛く感動させられました。鳥取市では「世界かにフェスティバル in 鳥取95」が開催され、大変な盛会でありました。「かに」が地域に根づきさらに各方面との係わりを深め、これからも長く続けられるよう皆で協力致しましょう!...

### 12月例会案内

日時 12月18日(月)  
開始 18:30~  
場所 ホテルわこう  
演題 忘年例会

※出席の有無を12月14日までに返信ハガキにてご回示下さい。

### 12月役員会報告

12月定例役員会が12月4日(月)、米子国際ホテルに於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。

- (1) 12、1、2月例会開催の件
- (2) チャリティー収益金について
- (3) その他

※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。